

高野山麓の西端で ー貴志川流域の文化財ー

【概要】

紀の川支流の貴志川。源流は高野山周辺にあり、真国川とともに紀の川と平行するように山間部を西へ流れ、途中で真国川と合流して北へと大きく流れを変え、紀の川へと注ぎます。

貴志川は高野山の西を流れるため、平安時代以降、高野山の旧領（弘法大師が高野山を開創した際に地主神である丹生明神から譲り受けた土地）の西境と認識され、高野山金剛峯寺は貴志川流域への関与を積極的に進めました。そのため、貴志川流域には高野山（弘法大師や丹生明神など）と関わりの深い文化財や伝承が多く残されています。また、貴志川下流域では、古墳や古代寺院が営まれるなど古くより開かれ、また平安時代以降には地名を冠した貴志氏の活動も見られます。

この企画展では、近年収蔵した貴志川流域に残る文化財、高野山との関わりを中心に、さらには貴志川ゆかりの寺社・武士・村などを取り上げ、その地域的な特徴についてご紹介します。

【会 期】令和元年（2019）6月8日（土）～7月7日（日） 展示日数 26 日間

【開館時間】午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）

【入館料】一般 280 円（220 円）・大学生 170 円（140 円）（ ）は 20 名以上の団体料金
高校生以下、65 歳以上、障害者手帳の交付を受けている方（同伴者を含む）、
県内の学校に在学中の外国人留学生は無料

【主 催】和歌山県立博物館

【会 場】和歌山県立博物館 1 階 企画展示室

※常設展「きのくにの歩み一人々の生活と文化一」と併催します。

【展示予定資料】 51 件 89 点 ※詳細は別紙展示資料目録参照

志賀野村絵図（紀美野町教育委員会蔵）、貴志組絵図写（和歌山市立博物館蔵）、丹生明神像・高野明神像（丹生神社蔵）、橋口家資料（個人蔵）、赤銅鳥頸太刀 銘真長（重要文化財、野上八幡神社蔵）、石造狛犬（野上八幡神社蔵）、御前家文書（個人蔵）、金剛峯寺根本縁起写（和歌山県立博物館蔵）、弘法大師像（紀美野町指定文化財、遍照寺蔵）、板絵弘法大師像（松瀬区蔵）、丸山古墳出土遺物（高山寺蔵）ほか

【会期中のイベントなど】ミュージアム・トーク（学芸員による展示解説）

6月8日（土）、22日（土）、30日（日） いずれも 13:30 から（45分程度）

入館の手続きをお済ませのうえ、企画展示室内にお集まりください（事前申し込み不要）

【担 当】県立博物館 主査学芸員 坂本亮太

〒640-8137 和歌山市吹上 1-4-14 和歌山県立博物館

電話 073-436-8670 Fax073-423-2467 E-mail admin@hakubutu.wakayama-c.ed.jp